

神根中だより

～聴き合い、学び合える居心地の良い学校～

令和6年1月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

「授業参観」から「学習参加」へ

校長 松村 一人

●昨年のお礼と年始に向けて

明けましておめでとうございます。保護者、地域の皆様、そして生徒のみなさんにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。新しい年と一緒に迎えられる喜びを共有したいと思います。



●授業に参加してみませんか？

ご存じのように、本校では学校改革として「学びの共同体」という授業を昨年度の2学期から取り入れています。この「学びの共同体」を提唱された東京大学名誉教授の佐藤学先生は、書籍の中で次のように書かれています。

教育は「サービス」だろうか。否である。教育は次世代を担う子どもに対する社会の責任であり、大人の責任である。この責任を教師と保護者が共有しない限り、相互の信頼関係を築くことはできない。そして、教師と保護者が教育の責任を共有することなしには、一人残らず子どもの学ぶ権利を実現することは不可能である。

この今日の学校が抱える最大の難問に対して、学びの共同体の学校改革は「学習参加」という活動システムを考案し、実践してきた。「学習参加」とは、保護者や市民が学校改革に参加し、子どもや教師と同様、学びの共同体に参画する活動である。通常、どの学校も学期に一回程度の授業参観を行っているが、この授業参観を、保護者も授業づくりに参加する「学習参加」に転換する改革を求めたい。

(中略)

「学習参加」の効果は期待をはるかに超えていた。授業参観を「学習参加」に切り替えた学校では、保護者の参加が一気に拡大した。

(中略)

「学習参加」で訪れる保護者は、わが子のためだけでなく、学校のすべての子どものために活動している。この公共的な活動への参画がもたらす効果は絶大である。「学習参加」によって、学校は文字通り「公共空間」として機能するようになる。また、「学習参加」を学期ごとに実施している学校においては、保護者や地域からの苦情が劇的に減るのも驚きである。

『新版 学校を改革する 学びの共同体の構想と実践』

(佐藤学著 岩波ブックレット No. 1078 岩波書店発行) より

3学期初めの1月15日(月)～1月19日(金)は学校公開週間となりますが、是非、席が空いていれば座っていただいて、「学習参加」していただければと思います。立ったままでも大丈夫です。生徒と一緒に学んでみてください。私も2学期末にはいろんなクラス・教科で「授業参加」してみました。とても楽しいですよ。